

\* \* \*

## 学 会 記 事

\* \* \*

§ 平成 22 年第 1 回日本核医学会理事会  
議事録

日 時：平成 22 年 2 月 22 日 (月)

12 時 00 分 ~ 16 時 00 分

場 所：日本アイソトープ協会 第 3 会議室

出席者：

理事長：玉木長良

理 事：油野民雄，伊藤健吾，井上登美夫，  
尾川浩一，絹谷清剛，汲田伸一郎，  
桑原康雄，小泉 潔，佐々木雅之，  
穴戸文男，千田道雄，竹田 寛，  
中川原謙二，西山佳宏，畑澤 順，  
本田憲業，望月輝一，山崎純一

監 事：小須田茂，阪原晴海

幹事長：志賀 哲

事務局：神田正子

欠席者：

理 事：荒野 泰 (敬称略)

議題

## I. 審議事項

## 1. PET 核医学歯科認定医

(資料 1) (汲田伸一郎理事)

申請資格などについて説明があり，了承され学会誌，WEB に掲載予定となった。

2. I-131 (1,110 MBq) による残存甲状腺破壊(アブレーション)の外來治療における適正使用に関する講習会 (資料 2) (絹谷清剛理事)  
講習の必要性などについての説明があり，学会が主体で行い春季大会の新コースとして施行することが承認された。講習内容は放射線管理と臨床的な内容を半々とし実習は行わないな

どについても承認された。

## 3. 分子イメージング戦略会議の設置についての提案 (資料 3) (井上登美夫理事)

資料 3 につき説明があり，当面の課題として，APDD の放射性イメージングガイダンスの提案に対する学会としての対応を検討することと，日本アイソトープ協会から今後依頼される予定のいわゆる成熟薬剤のありかたに関して対応することが，報告された。

## 4. その他 (資料 18) (小須田 茂監事)

## (1) 核医学用語集について

日本医学放射線学会用語委員会から用語集を homepage で閲覧できるようにとの要望があった。いろいろな意見がだされたが装置関係を尾川先生，臨床関係を桑原先生，薬剤はどなたかに指名してまとめてもらうことで了承された。

## (2) 核医学専門医・PET 核医学認定試験成績優秀者の表彰について

臨床核医学レベルアップを期待し成績優秀者を表彰したいとの要望があったが，実施しないことが確認された。代わりに第 50 回総会で問題をポスターにし，回答者の中から優秀者を表彰することを前向きに検討することになった。

## (3) 放射線安全管理講習会の出席証明書発行について

日本医学放射線学会が実施している放射線安全管理講習会を日本核医学会で実施したらどうかとの意見がでた。

## (4) 理事に技術系の枠を設けることについて

(玉木長良理事長)

当学会の理事に技術系の枠を設けること

について、賛同する意見がほとんどであったが、今回は各自持ち帰って検討してもらい次回または次々回の理事会で決定することとなった。

## II. 報告事項

### 1. 第 50 回学術総会状況報告

(資料 4) (本田憲業会長)

大宮での宿泊はパレスホテルに 40 部屋位確保してある。紹介などは行くが宿泊費は各自負担とのことであった。

### 2. 第 51 回学術総会準備状況報告

(資料 19) (小須田 茂次期会長)

(1) 日本放射線技術学会秋季大会と日程が重なったため 1 日繰り上げの要望があり日程を 10 月 27 日～29 日に変更した。

(2) 27 日に日中韓核医学会 (CJK2010) を計画しており、援助の要請があった。

(3) メインテーマは「核医学による架け橋」。

(4) 運営は JCS (日本コンベンションサービス) とすること。

(5) 特別講演と市民公開講座を一緒に開催すること。

等が報告された。

玉木先生から本田先生、小須田先生に SNM のために英語のパンフレットを作っていただきたいとの要望があった。

### 3. 第 52 回学術総会準備状況報告

(玉木長良次々期会長)

日程は 2012 年 10 月 11 日～13 日、会場はホテルロイトンとすることの報告があった。51 回のように学会日程が重なるのが問題であり、今後大会長をする人は気をつけていただきたいとの要請が理事長よりあった。

### 4. 第 10 回春季大会準備状況報告

(資料 5) (織内 昇実行委員長)

(1) 日程は 5 月 7 日(金)～9 日(日)タワーホール船堀。

(2) 内容は昨年のセミナーに新規講習会を 5 月 7 日午後追加する。

との報告があった。

玉木理事長から

1. 会場人数の設定などが大変なので今後検討しなければならないこと。

2. 来年は大阪、再来年は東京(同じ会場)で開催し事務局と理事長の医局で運営。

との報告があった。

### 5. 会計報告 (資料 6) (油野民雄理事)

平成 21 年 9 月から平成 22 年 1 月まで月次損益計算書に基づいて会計報告が行われた。

### 6. 委員会報告

#### (1) 編集委員会 (資料 7) (絹谷清剛理事)

1. ANM と核医学の投稿規程の整合性をとるため核医学投稿規程の中にある会員であるとの規定は撤廃した方がよいのではないかと提案があり、承認された。

2. 採択率が下がっており掲載数は少なくなっているが、査読を甘くするわけにはいかないため当分はこのままの方針を維持すること。

3. 「投稿論文に関する研究の臨床試験登録」に関する新規定について説明があり、平成 22 年 4 月以降に投稿される前向き研究の論文に関しては UMIN などのデータベースに公開していることの明示を義務付けること。

4. 「2 次出版に関する内規の説明」につき報告があった。

また Reviewer の質の担保に関する事項を次回の理事会で報告したいとの発言があった。

#### (2) 教育・専門医審査委員会

(資料 8) (汲田伸一郎理事)

核医学専門医教育病院の認証審査を厳正に対処すること。

核医学専門医試験方法の変更：平成 24 年に実施する第 9 回核医学専門医試験から、各論 3 領域(脳神経核医学、循環器核医学、腫瘍核医学)の選択制は廃止し、全領域からの出題となることが承認された。

更新については継続審議となった。

(3) PET 核医学委員会

(資料9)(穴戸文男理事)

核医学専門医を取得していないPET核医学認定医の更新申請に必要なPET研修セミナーの受講について、PETサマーセミナーでの開催、出席証明書の問題などについて多くの意見が出た。PET研修セミナーの臨床編の出席を、PETサマーセミナーへの出席をもって代えることを認めることが承認された。

なお、平成23年開催のPET研修セミナーから適用することとなった。詳細については穴戸文男委員長を中心に数名の先生とでまとめることになった。

前述の件は今年の春季大会までにアナウンスできるようにする予定となった。

院内製造されたFDGを用いたPET検査を行うためのガイドライン(第2版)の追補について説明があった。

(4) 健保委員会 (資料10)(伊藤健吾理事)

H22診療報酬改定について：医療技術の評価・再評価(2次評価結果)および中医協答申書の内容について報告された。この中でPETについてすべての悪性腫瘍(早期胃癌を除く)の病期診断、再発・転移診断に保険適用が拡大される見通しとなったが、それに対応するため3月末までにガイドラインを出すように厚労省から依頼があった旨、報告された。ガイドラインの作成と公表に関しては、時間がないため3月にメール理事会で承認して発表することを了承した。

内保連第106回例会(平成22年1月25日)：平成24年度改定に向けた内保連の活動方針などについて報告された。

厚生労働省医政局指導課訪問(平成22年2月1日)：診療報酬改定における要望事項を伝えたことが報告された。

厚生労働省医政局研究開発振興課訪問

(平成21年11月9日)。高度医療評価制度について意見交換を行ったことが報告された。

(5) 広報委員会 (資料11)(尾川浩一理事)

Web上で閲覧するデジタル版の会員名簿を作成予定。次回の理事会までに詳細案をまとめる。会員はWeb上で項目の修正なども実現できるようにするが、マスターデータは事務局にて修正を行う。専門医の更新などの情報も提供する予定と報告された。

(6) リスクマネジメント委員会

(望月輝一理事)

現在特に活動を行っていないとのことであった。

心臓の負荷検査時の臨床医の立会いに関し意見がだされ、心臓核医学会と同様医師1名と看護師1名を核医学会でも推奨することとなった。

(7) 放射線防護委員会 (本田憲業理事)

報告事項なしとのことであった。

(8) 倫理検討委員会 (竹田 寛理事)

「日本核医学会における臨床研究の利益相反管理に関する指針」に訂正箇所があったことが報告された。

倫理相反管理委員会の設立が必要との意見がだされた。

(9) 学会賞選考委員会 (桑原康雄理事)

日本核医学会賞、研究奨励賞の募集内容が、核医学1号に掲載される予定との報告があった。

(10) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (資料12)(荒野 泰理事)

「診療用放射性医薬品に関する臨床評価ガイドラインの作成に関する研究」が進められているとの報告があった。(第4回班会議、2月24日開催予定)

(11) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会

(資料13)(荒野 泰理事)

核医学認定薬剤師の位置づけ、役割、認定要件について意見交換を行った。

薬剤師認定制度認証機構への申請についての具体案を策定予定であるとの報告があった。

- (12) 将来計画委員会 (畑澤 順理事)  
委員会自体の将来計画を練っている段階との報告があった。

7. ワーキンググループ (畑澤 順理事)  
メール理事会で、佐治英郎先生が代表の「放射能の投与量と収集時間が画質に与える影響に関する基礎検討」ワーキンググループが追加承認されたとの報告があった。

#### 8. 分科会活動

- (1) 腫瘍・免疫核医学研究会  
(資料 14) (絹谷清剛理事)  
佐々木雅之先生、小泉潔先生の新世話人が承認された。  
研究会世話人選任についての規約を変更していただきたい旨の要請があった。

- (2) 日本脳神経核医学研究会  
(畑澤 順理事)  
昨年は 100 人前後の参加で、各学会共催のランチオンが 15～20 位であったとの報告があった。

- (3) 日本心臓核医学会  
(資料 15) (山崎純一理事)  
第 74 回循環器学会総会・学術集会 / 日本心臓核医学会ジョイントセミナーを開催。  
第 58 回日本心臓病学会学術集会・日本心臓核医学会ジョイントシンポジウムを開催。  
第 50 回日本核医学会学術総会における日本核医学会・日本心臓核医学会ジョイントセッションを企画中。  
との報告があった。

- (4) 呼吸器核医学研究会 (竹田 寛理事)  
呼吸器分科会は津市で 4 月 24 日開催予定との報告があった。

- (5) PET 核医学分科会 (千田道雄理事)  
日本医学放射線学会の時にデリバリー PET 協議会、PET 施設管理連絡会を開催。  
PET サマーセミナー(8 月 20 日～22 日)はホテルグランピア岡山で開催。  
との報告があった。

9. 国外学会等連携担当理事 (桑原康雄理事、油野民雄理事、畑澤 順理事)  
(1) 世界核医学会  
南アフリカケープタウンで開催。  
(玉木長良理事長)

- (2) 米国核医学会  
中本裕士先生がジョイントセミナーで健診などについて紹介。  
(3) アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務)  
放射線医学総合研究所 渡辺直行先生に行っていただくとの報告があった。

- (4) 日韓中核医学会  
第 51 回学術総会時 10 月 27 日に日中韓核医学会(CJK2010)を計画しており、援助の要請があった。  
との報告があった。

10. 日本核医学専門技師認定機構  
(資料 16) (小泉 潔理事)  
認定試験、養成講座、研修セミナーの開催予定について資料 16 に基づき説明があった。

11. その他  
テクネチウム放射性医薬品の供給体制に係る要望 (資料 17) (井上登美夫理事)  
国家的観点から国内供給体制の確立を目指し要望書を日本医学放射線学会と連名で文部科学大臣に提出するとの報告があった。  
次回理事会は 5 月 7 日(金)15:00～19:00。  
次々回理事会 8 月 30 日(月)12:00～16:00。  
との報告があった。